

会社概要

Jimoto Holdings

じもとホールディングス

会社概要

2024年3月末現在

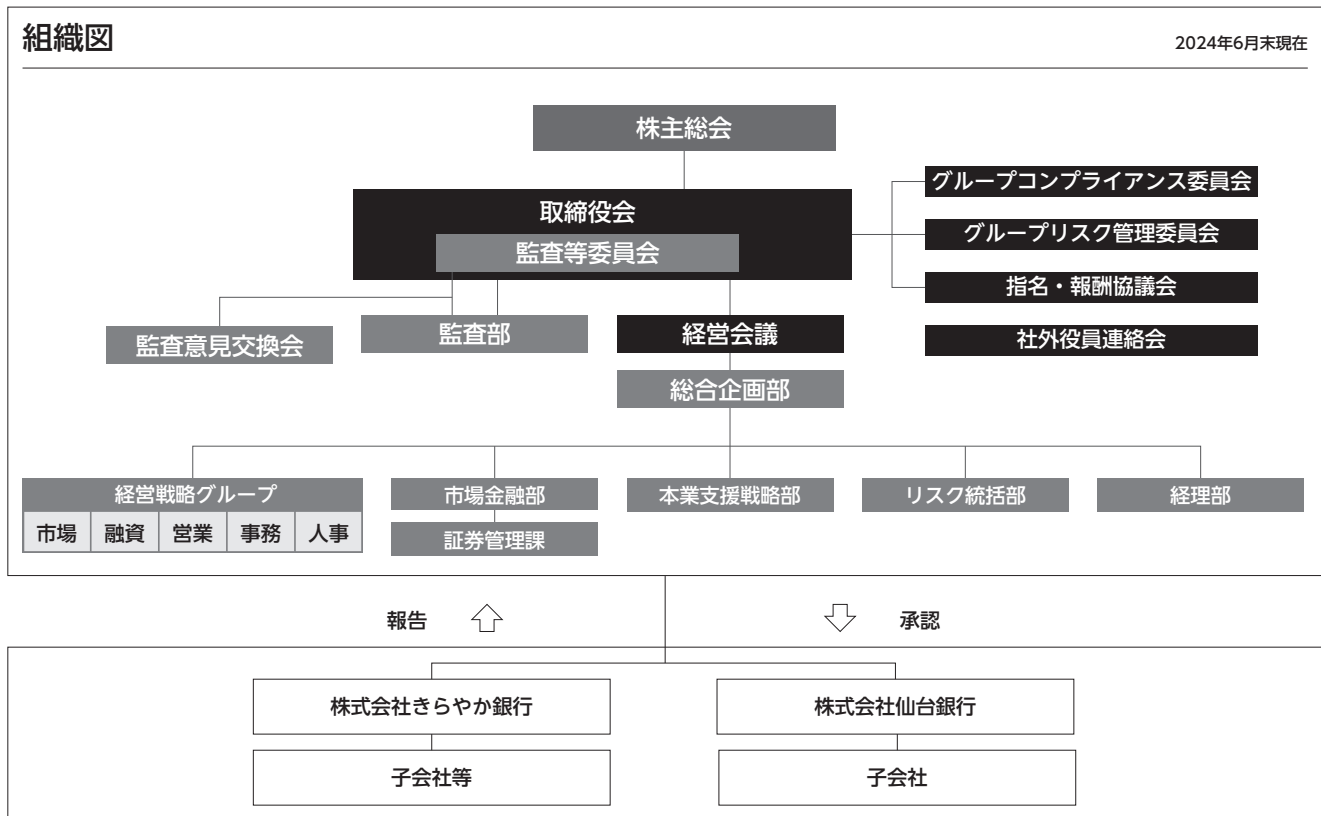
名称	株式会社じもとホールディングス
本社所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-722-0011（代表）
事業内容	1. 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯又は関連する業務 2. その他銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
設立年月日	2012年10月1日
資本金	287億33百万円
上場取引所	東京証券取引所
ホームページ	https://www.jimoto-hd.co.jp/

経営の組織

Jimoto Holdings

組織図

2024年6月末現在



会計監査人の氏名又は名称

Jimoto Holdings

会計監査人の名称

2024年6月末現在

EY新日本有限責任監査法人

役員の状況

Jimoto Holdings

役員

2024年6月末現在



取締役会長（代表取締役）

川越 浩司



取締役社長（代表取締役）

鈴木 隆



常務取締役

尾形 毅



常務取締役

内田 巧一



取締役

坂爪 敏雄



取締役

藤島 正史



取締役

芳賀 隆之



取締役

遠藤 裕治



取締役（社外）

半田 稔



取締役（社外）

長谷川 靖



取締役（社外）

佐竹 勤



取締役監査等委員（常勤）

三瓶 渉



取締役監査等委員（社外）

伊藤 吉明



取締役監査等委員（社外）

高橋 節



取締役監査等委員（社外）

伊東 昭代

事業系統図、子会社等に関する事項

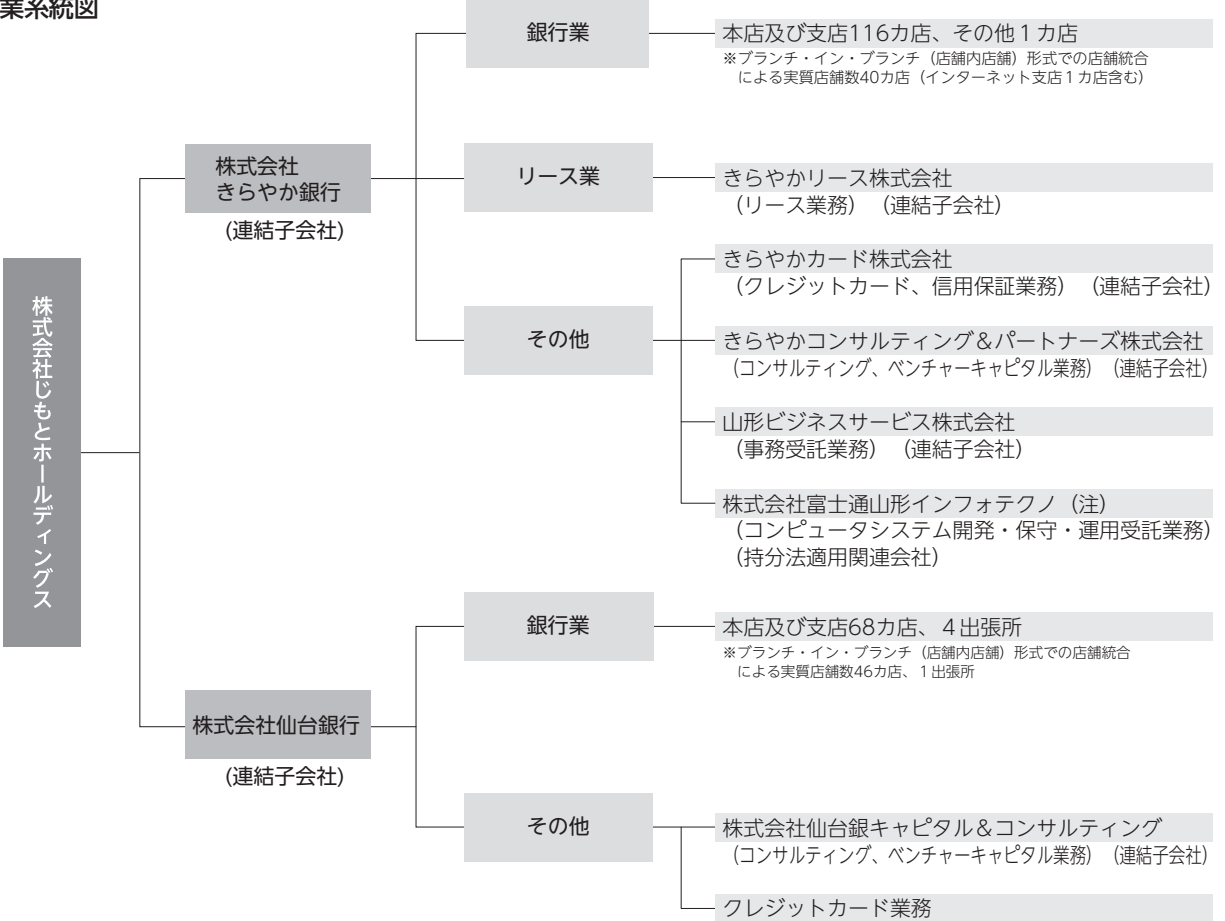
Jimoto Holdings

企業情報

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社7社及び関連会社（持分法適用関連会社）1社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスに係る事業を行っております。

事業系統図

2024年3月末現在



（注）株式会社富士通山形インフォテクノは、2024年4月1日より株式会社JimoTecとして株式会社きらやか銀行100%所有の子会社となっております。

子会社等に関する事項（2024年3月末現在）

会社名	所在地	事業内容	設立年月日	資本金 (百万円)	議決権の所有割合		
					じもと ホールディングス	きらやか 銀行	仙台銀行
株式会社きらやか銀行	山形市旅籠町三丁目2番3号	銀行業	2007年 5 月 7 日	34,183	100.0% (—)	—	—
株式会社仙台銀行	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号	銀行業	1951年 5 月25日	22,735	100.0% (—)	—	—

きらやか銀行子会社等

きらやかリース株式会社	山形市七日町二丁目6番3号	リース業務	1975年 5 月22日	80	98.0% (98.0%)	98.0% (—)	—
きらやかカード株式会社	山形市七日町二丁目6番3号	クレジットカード・ 信用保証業務	1988年 8 月 1 日	30	100.0% (100.0%)	100.0% (—)	—
きらやかコンサルティング & パートナーズ株式会社	山形市旅籠町三丁目2番3号	コンサルティング、 ベンチャーキャピタル業務	1996年 4 月 3 日	30	55.0% (55.0%)	55.0% (20.0%)	—
山形ビジネスサービス 株式会社	山形市旅籠町三丁目2番3号	事務受託業務	1981年 1 月23日	10	100.0% (100.0%)	100.0% (—)	—
（持分法適用関連会社） 株式会社富士通山形 インフォテクノ※1	山形市香澄町一丁目3番15号 山形むらさきざわビル※2	コンピュータシステム 開発・保守・運用受託業務	1974年10月31日	60	49.0% (49.0%)	49.0% (—)	—

※1 株式会社富士通山形インフォテクノは、2024年4月1日より株式会社JimoTecとして株式会社きらやか銀行100%所有の子会社となっております。
※2 2024年4月より、新住所（山形市清住町二丁目7番1号）に移転しております。

仙台銀行子会社

株式会社仙台銀 キャピタル&コンサルティング	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号	コンサルティング、 ベンチャーキャピタル業務	2020年 1 月10日	50	100.0% (100.0%)	—	100.0% (—)
---------------------------	------------------	---------------------------	--------------	----	--------------------	---	---------------

（注）「議決権の所有割合」欄の（ ）内は子会社による間接所有の割合（内書き）であります。

会社概要、主要な業務内容

Kirayaka Bank

きらやか銀行

会社概要

2024年3月末現在

名称	株式会社きらやか銀行
本店所在地	山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001（代表）
設立年月日	2007年5月7日
資本金	341億円83百万円
預金・譲渡性預金	12,300億円
貸出金	9,829億円
従業員数	674名
店舗数	117カ店（県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店） ※ ブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数40カ店（県内25カ店、県外14カ店、その他1カ店）
ホームページ	https://www.kirayaka.co.jp/

主要な業務の内容

2024年6月末現在

預金業務

■預金

当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金等を取り扱っております。

■譲渡性預金

譲渡可能な定期預金を取り扱っております。

貸出業務

■貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。

■手形の割引

銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。

商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っております。

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、当座振込及び代金取立等を取り扱っております。

社債受託及び登録業務

担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。

特定社債保証制度による無担保社債の受託業務を行っております。

金融先物取引等の受託等業務

金融先物・オプション取引、証券先物・オプション取引の受託及び金利先渡取引を行っております。

確定拠出年金業務

確定拠出年金業務（企業型年金・個人型年金）に関する各種業務を行っております。

附帯業務

■代理業務

日本銀行歳入代理店

地方公共団体の公金取扱業務

勤労者退職金共済機構の代理店業務

株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務

日本政策金融公庫等の代理貸付業務

信託代理店業務

■保護預り及び貸金庫業務 ■有価証券の貸付

■債務の保証（支払承諾）

■公共債の引受

■国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売業務

■損害保険の窓口販売業務 ■生命保険の窓口販売業務

■金融商品仲介業務

■市場誘導業務

銀行代理業者に関する事項

2024年6月末現在

■銀行代理業者の商号

株式会社仙台銀行

■仙台銀行がきらやか銀行のために銀行代理業を営む事務所の名称

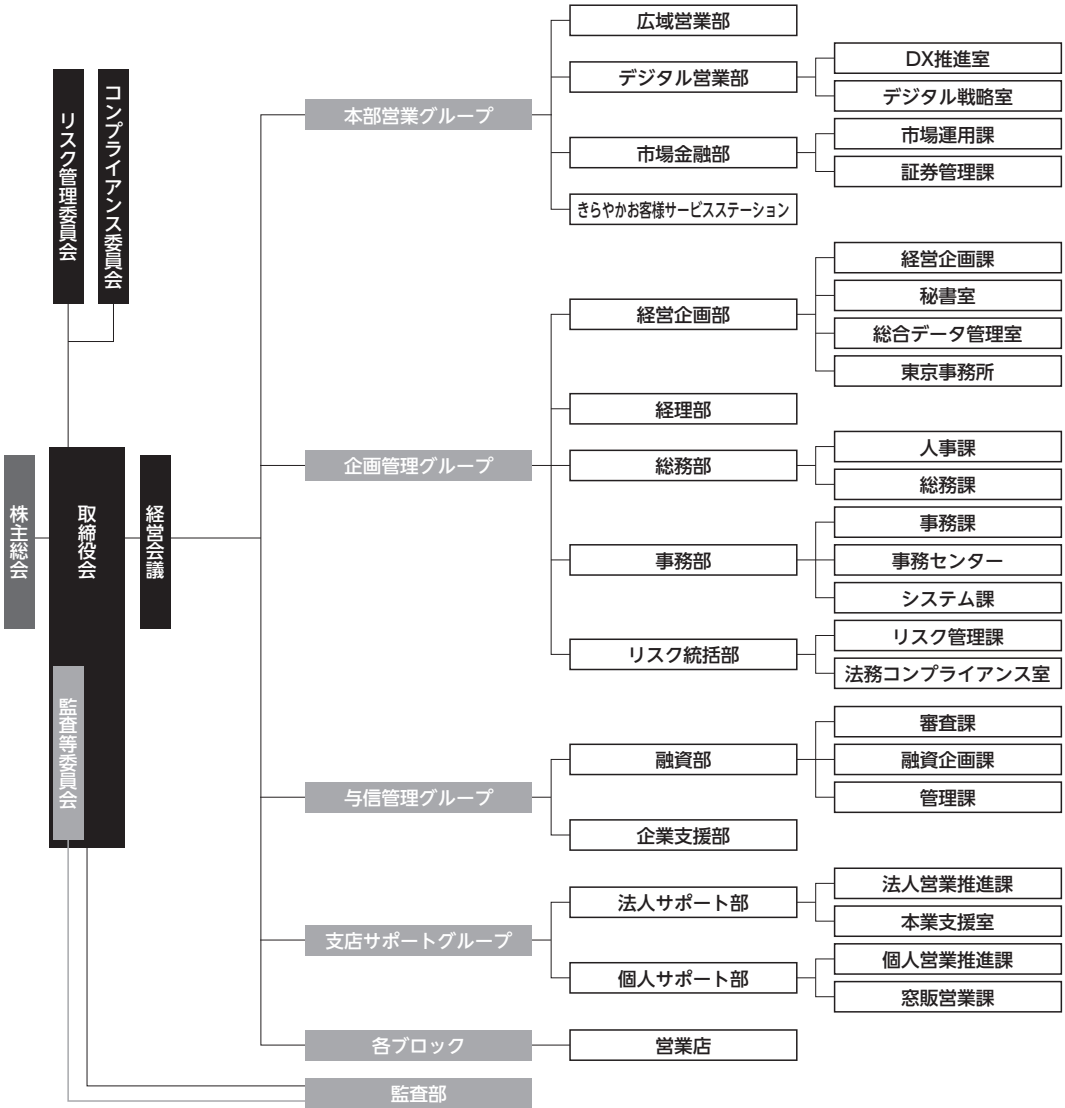
株式会社仙台銀行営業本部個人営業部個人営業企画課

経営の組織

Kirayaka Bank

組織図

2024年6月末現在



役員の状況

Kirayaka Bank

役員

2024年6月末現在

取締役頭取（代表取締役）	川越 浩司	取締役	鈴木 治
常務取締役（代表取締役）	内田 巧一	取締役（非業務執行）	長谷川 靖
取締役	藤島 正史	取締役監査等委員	野本 高誉
取締役	遠藤 裕治	取締役監査等委員（社外）	結城 章夫
取締役	笠原 守	取締役監査等委員（社外）	五十嵐 正明
取締役	西塚 英樹		

会計監査人の氏名又は名称

Kirayaka Bank

会計監査人の名称

2024年6月末現在

EY新日本有限責任監査法人

会社概要、主要な業務内容

Sendai Bank

仙台銀行

会社概要

2024年3月末現在

名称	株式会社仙台銀行
本店所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-225-8241（代表）
設立年月日	1951年5月25日
資本金	227億35百万円
預金・譲渡性預金	12,229億円
貸出金	9,358億円
従業員数	670名
店舗数	72カ店 ※ランチ・イン・ランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数47カ店
ホームページ	https://www.sendaibank.co.jp/

主要な業務の内容

2024年6月末現在

預金業務

■預金

当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金等を取り扱っております。

■譲渡性預金

譲渡可能な定期預金を取り扱っております。

貸出業務

■貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。

■手形の割引

銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。

商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っております。

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、当座振込及び代金取立等を取り扱っております。

社債受託及び登録業務

担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び登録に関する業務を行っております。

附帯業務

■代理業務

日本銀行歳入代理店
地方公共団体の公金取扱業務
日本政策金融公庫等の代理貸付業務
株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
住宅金融支援機構等の代理店業務

■貸金庫業務

■有価証券の貸付

■債務の保証（支払承諾）

■公共債の引受

■国債等公共債及び投資信託の窓口販売業務

■バンクカード業務

■クレジットカード業務

■損害保険の窓口販売業務

■生命保険の窓口販売業務

■金融商品仲介業務

銀行代理業者に関する事項

2024年6月末現在

■銀行代理業者の商号

株式会社きらやか銀行

■きらやか銀行が仙台銀行のために銀行代理業を営む事務所の名称

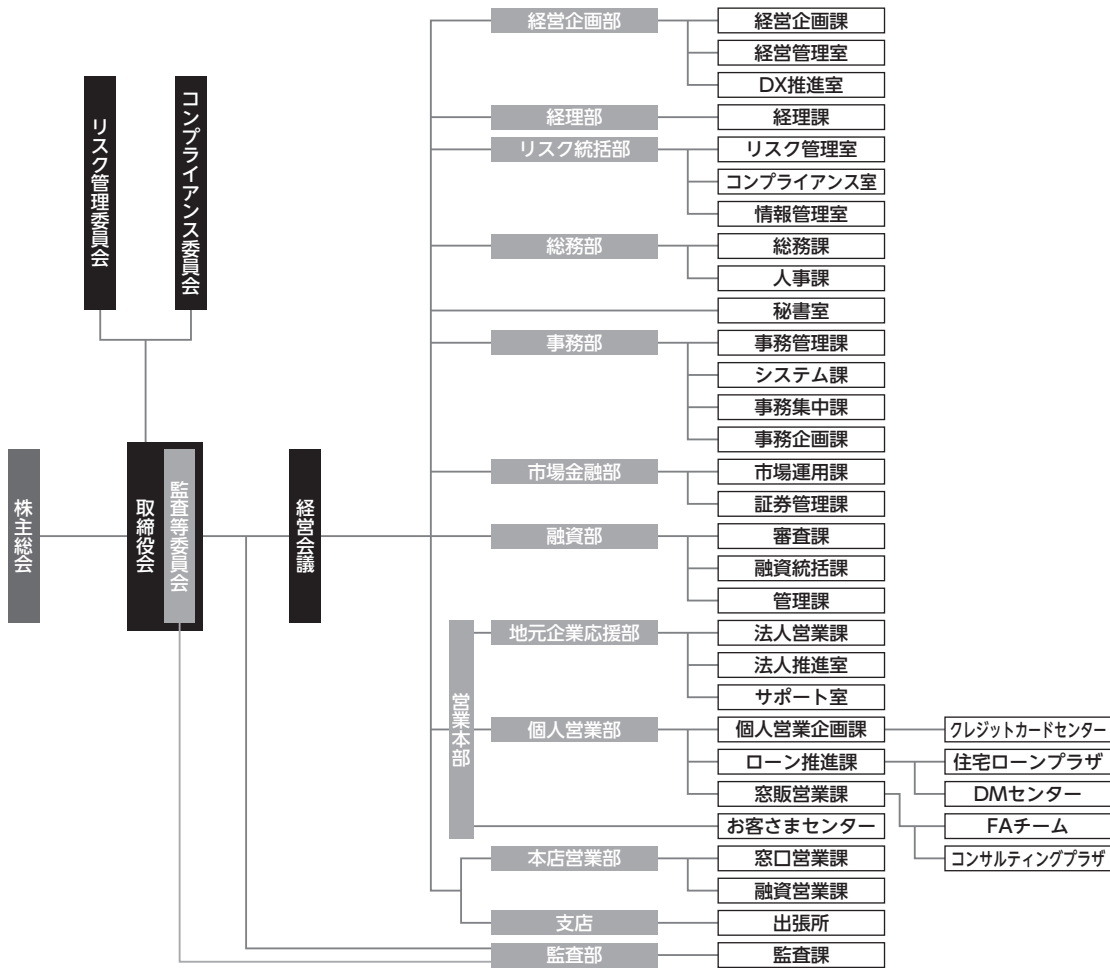
株式会社きらやか銀行きらやかお客様サービスステーション

経営の組織

Sendai Bank

組織図

2024年6月末現在



役員の状況

Sendai Bank

役員

2024年6月末現在

取締役会長	鈴木 隆	取締役 (営業本部長兼地元企業応援部長委嘱)	丹野 俊敬
取締役頭取 (代表取締役)	坂爪 敏雄	取締役 (経営企画部長兼経理部長委嘱)	柴田 健
専務取締役 (代表取締役)	芳賀 隆之	取締役 (社外)	堀内 政司
常務取締役 (代表取締役)	尾形 毅	取締役監査等委員 (常勤)	千葉 裕子
常務取締役	中澤 雄二郎	取締役監査等委員 (社外)	柴田 純一
取締役 (本店営業部長委嘱)	池田 清	取締役監査等委員 (社外)	氏家 道也

会計監査人の氏名又は名称

Sendai Bank

会計監査人の名称

2024年6月末現在

EY新日本有限責任監査法人

グループ経営理念



**宮城と山形をつなぎ、
中小企業支援を通じて、
地元中小企業や地域に貢献する**

当グループは、宮城・山形両県にまたがる金融グループとして、両県の人・情報・産業を「つなぐ」架け橋となり、共同商品の開発やサービスの向上、経営資源の戦略的な配分を通じて、多面的な金融サービスを創造・提供し、地元経済活性化に貢献してまいります。

じもとホールディングス

じもとグループ



※株式会社富士通山形インフォテックノは、2024年4月1日より株式会社JimoTecとして、株式会社きらやか銀行100%所有の子会社となっております。

グループ経営戦略

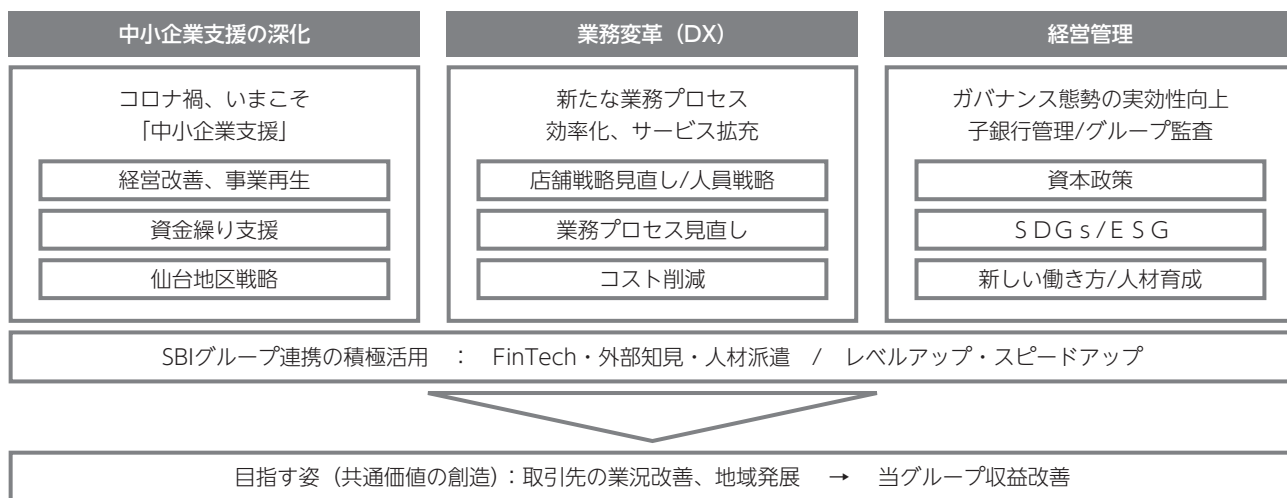
中期経営計画（計画期間：2021年4月～2024年3月）

計画方針と目指す姿

中期経営計画では、経営理念である「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」のもと、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の5年・10年後も見据えて、「中小企業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」を計画の3本柱として掲げました。

当グループは、本計画を通じて、これまで以上に取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当グループの収益改善にもつなげ、「共通価値の創造」を実現すべく役職員が全力で取り組んでまいります。

計画の骨子



○中小企業支援の深化

- 「中小企業支援」は、子銀行の「中小企業成長戦略」を深化させ、取引先の経営改善、信頼関係構築、取引拡大につなげます。
- コロナ禍では「経営改善・事業支援」が重要課題であります。SBIグループ、コンサル子会社との連携等でレベルアップを図ります。
- 宮城と山形をつなぐ取組みは、新たなビジネスマッチング手法を導入するなど、両行取引先の課題解決に貢献します。
- グループの情報共有を密にし、共同施策を検討・追加するなど、グループ統合効果をさらに発揮します。

HD共同施策 (両行が共同で重点対応)	HD共通施策 (グループ方針を共有し、各行が対応)	BK個別施策 (市場に応じて、各行が対応)
宮城と山形をつなぐ取組み 新たなビジネスマッチング導入	《中小企業成長戦略の深化》 中小企業支援による取引先の経営改善 (信頼関係構築、取引拡大)	(その他営業戦略)
経営改善・事業支援（事業承継、M&A等） SBIグループ、コンサル子会社との連携等でレベルアップ	法人役務手数料	個人向け戦略
	仙台地区戦略	子会社戦略
SBIグループ連携の積極活用 本業支援や営業戦略の提案メニュー拡大、グループ収益向上へ		

○業務変革（DX）

- ・コロナ禍による社会経済の変化、急速なDXの進展などの環境変化に応じた、スピード感ある業務変革が重要課題です。
- ・「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制を強化します。
- ・とりわけ「業務効率化・DX」は、SBIグループのノウハウを積極活用し、グループ全体で一層の統合効果を追求します。
- ・サブシステム更新対応、コスト削減など、これまで蓄積した効率化ノウハウも継続し、経営効率化につなげます。

HD共同施策 (両行が共同で重点対応)	HD共通施策 (グループ方針を共有し、各行が対応)	BK個別施策 (市場に応じて、各行が対応)
《業務効率化・DX》 両行共通・重複業務、組織の効率化 新たな業務プロセスの創出 ※ペーパーレス、WEB口座、IB推進 タブレット活用、WEB会議等 ※SBIノウハウを積極活用	《店舗戦略の見直し》 店舗統廃合による集約化、効率化 非対面取引の拡充 《人員戦略》 人員の適正化 渉外担当者への再配置	業務全般にわたる見直し・効率化
サブシステム更新 コストダウン/効率運用の再検証	コスト削減・OHR改善	
SBIグループ連携の積極活用 FinTech、DX対応等の多様なノウハウ活用、変革を進める		

○経営管理

- ・子銀行の有価証券運用は、SBIグループのノウハウを積極活用し、運用管理体制の高度化や人材育成を進めます。
- ・信用リスク管理は、コロナ禍の中長期化に備えて、予防的な貸倒引当計上、途上与信管理の強化に取り組みます。
- ・子銀行管理やグループ監査の強化等により、ガバナンス態勢の実効性向上に取り組みます。
- ・グループの資本政策については、中長期的な視点も含めながら、継続的に検討を進めます。

HD共同施策 (両行が共同で重点対応)	HD共通施策 (グループ方針を共有し、各行が対応)	BK個別施策 (市場に応じて、各行が対応)
経営管理態勢の高度化 (子銀行管理、監査、東証改革)	有価証券運用・管理の高度化 (SBI連携ノウハウの活用) 信用リスク管理強化 (予防引当、途上与信管理強化)	
資 本 政 策	コロナ業務継続体制	
E S G / S D G s	新しい働き方・人材育成	
次世代へ向けた人事交流等	HD運営体制	
SBIグループ連携の積極活用 有価証券運用・管理ノウハウの導入、人事交流による人材育成		